

京都学・歴史彩館府民協働連続講座 都草講演会

主催 NPO法人 京都観光文化を考える会・都草

共催 京都府立京都学・歴史彩館

日時 2025年6月22日(日曜日) 午後2時～午後4時
(午後1時15分開場予定)

場所 京都府立京都学・歴史彩館 大ホール

(京都市左京区下鴨半木町 1-29)
入場料・無料
座席自由(先着40名)



稲荷信仰の成り立ち

―渡来人の祀った稲荷神社―

タイムスケジュール

【講演】 午後2時～3時20分

【講師】 京都産業大学名誉教授

井上 満郎氏

【質疑応答】 午後3時30分～4時

会場の皆様の疑問にお答えします。

(質問がある方は登壇していただきます)

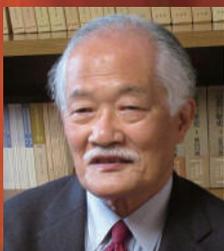


神社というと多くの方は日本古来の、かつ純粋な信仰だとお考えになるかと思いますが。

しかし伏見稲荷大社は朝鮮半島からやって来た渡来人の祀った神社として、京都に広く居住した秦氏の創建なのです。

では渡来人が朝鮮半島から持ってきた信仰をそのままに植え付けたのかというと、そうではありません。地元にあった元々の人たちの信仰のうえに重層して成立したもののなのです。もとは農業への信仰からはじまりましたが、その後の歴史の展開のなかで人々のさまざまな祈りと願いを受け入れて、現在にいたっています。

【講師プロフィール】 京都産業大学名誉教授 井上 満郎氏



1940年京都市生まれ。京都大学大学院修了。2004年から京都市歴史資料館館長、2014年から京都市埋蔵文化財研究所所長、2016年から伏見稲荷大社附属講務本庁理事、2017年から公益財団法人高麗美術館館長。

京都新聞大賞(文化学術賞)(2009年)、全国社会教育功労者文部科学大臣表彰(2011年)、京都市文化功労者表彰(2018年)、他多数

【著書】『京都・躍動する古代』(ミネルヴァ書房) 『平安京の風景』(文英堂) 『秦河勝』(吉川弘文館) 『渡りくる人びとー日本・京都の深層を知るー』(京都新聞出版センター) 他単著、共著、論文多数

* 申し込み方法 *

募集期間：4月2日(水)～6月20日(金)

募集人員：先着400名様

1. 都草ホームページ上段「募集案内」の「都草講演会」からお申し込みください。

<https://www.miyakogusa.com>

2. E-mailの場合 info@miyakogusa.com

3. Faxの場合 **075-451-8146**

・「件名」に「都草講演会」と明記

・参加者氏名(ふりがな)と連絡先電話番号

(ふりがな)

・複数申し込みは可能ですが、代表者の連絡先電話番号と参加者全員の氏名をご記入ください。

* 電話での受付はいたしていません。

* 定員に達しない場合には当日ご入場いただけます。



- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため募集人員が変更されることがあります。予め、ご了承ください。
- 当日会場にてお名前を承ります。
- 録画・録音・写真撮影は固くお断りします。

* 場所 京都府立京都学・歴史館 *



【電車でお越しの方】

- 京都市営地下鉄(烏丸線)北山駅 [K03]
一番出口から南へ徒歩約4分
* 車椅子の方は、北山駅3番出口のエレベーター

【バスでお越しの方】

- 北山駅前
(京都市バス4・北8系統)
南へ徒歩約4分
- 府立大学前
(京都市バス1・204・205・206・北8系統)
(京都バス32・34・35・45・46系統)
北へ徒歩約6分



* NPO法人 京都観光文化を考える会・都草 *

ともに京都を学び・語り・遊ぶ

「都草」は平成16年に始まった京都・観光文化検定試験(京都商工会議主催)で「京都通」と認定された人々をはじめ、京都の歴史・観光・文化を学ぼうとする人々の集まりです。京都の観光・文化の振興と啓蒙に関する事業を行い、京都の活性化と豊かな地域社会の実現に寄与することを目的としています。



〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入ル京都府庁旧本館2階・旧書記官室

Tel/Fax: 075-451-8146

<https://www.miyakogusa.com/>